

平成30年度中国地区空手道選手権大会開催要項

第40回中国地区空手道選手権大会
第26回中国地区少年少女空手道選手権大会
第20回中国地区中学生空手道選手権大会
第73回国民体育大会空手道競技中国ブロック大会

- 1 主催 (公益財団法人) 全日本空手道連盟 中国地区協議会
- 2 共催 中国地区中学校空手道連盟
- 3 主管 山口県空手道連盟
- 4 協賛 (公益財団法人) 全日本空手道連盟
- 5 後援 山口県 (公益財団法人) 山口県体育協会 山口県教育委員会
山口市 山口市体育協会 山口市教育委員会
- 6 開催期日 平成30年 7月14日(土) ・ 15日(日)
- 7 会場 維新百年記念公園 スポーツ文化センター アリーナ
〒753-0815 山口県山口市維新公園4-1-1 TEL(083)922-2754
- 8 種目

種別・種目	人数
小学5年生女子個人組手	2名
小学5年生男子個人組手	2名
小学6年生女子個人組手	2名
小学6年生男子個人組手	2名
中学生女子組手個人戦	4名
中学生男子組手個人戦	4名
小学5年生女子個人形	2名
小学5年生男子個人形	2名
小学6年生女子個人形	2名
小学6年生男子個人形	2名
中学生女子形個人戦	4名
中学生男子形個人戦	4名

組手 (小・中学生) 団体戦 (3人制監督2名)	2チーム
先鋒 小学5・6年生男子又は女子	1名
中堅 中学生女子	1名
大将 中学生男子	1名

成年男子組手個人戦	
1 軽量級 (65kg未満)	2名
2 中量級 (65kg～75kg未満)	2名
3 重量級 (75kg超級)	2名
組手団体戦 (5人制監督2名) (※)	2チーム
少年女子組手個人戦	2名
成年女子組手個人戦	2名
少年男子組手個人戦	2名
成年男子形個人戦	2名
成年女子形個人戦	2名
少年女子形個人戦	2名
少年男子形個人戦	2名

※開催県に限り、中学生種目は個人1名、小中学生団体戦は1チーム増えてもよい。

ただし、参加点は加算しない。

※監督は2名でもよい。

※大会参加者は、各種目とも各県にて選抜された選手の上位者よりエントリーすること。

9 競技規定

【組手競技】

①安全具について (全空連検定品であれば小・中・高 使用区分の制限はしない)

小学生

全空連検定済み 赤・青のSサイズまたは小学生用リバーシブル拳サポーター、メンホー(No.5以上)、ボディープロテクター、セーフティカップ(男子)、シンガード・インステップガード

中学生・高校生

全空連または高体連検定済み 拳サポーター(赤・青)、メンホー(No.5以上)、ボディープロテクター、セーフティカップ(男子)、シンガード・インステップガード

成年

全空連または学連検定済み 拳サポーター(赤・青)、メンホー(No.5以上)、ボディープロテクター(女子のみ)

*成年のシンガード・インステップガードは義務づけはないが、装着の場合は赤・青色別のものを着用。

*成年男子のセーフティカップは義務づけはないが、装着場合は全空連検定のものを着用。

*上記安全具は選手各自において用意すること。

②組手団体戦について (※)

団体戦の全ての競技は勝敗が決定した時点で終了とする。

団体戦は国体に準じ、先鋒高校生男子・次鋒高校生女子又は成年女子とし、各回ごとに変更する。中堅・副将・大将は成年男子の軽・中・重量級より選考する。

③競技時間およびポイント数について

小学生	1分30秒フルタイム	6ポイント以上差
中学生	1分30秒フルタイム	6ポイント以上差
高校生	2分フルタイム	8ポイント以上差
成年男子	3分フルタイム	8ポイント以上差
成年女子	2分フルタイム	8ポイント以上差

【形競技】

小学生

- (ア) トーナメント方式で2名同時に行う。決勝戦は1名ずつで行う。
- (イ) 審判員5名の赤・青旗の多数決により決定する。
(2名同時に行う場合、副審の位置は主審と同線上とする)
- (ウ) 準々決勝までは(公財)全日本空手道連盟 基本形(一～四)の中から選択し、同じ形を繰り返し演武できるものとする。
- (エ) 準決勝・決勝戦は(公財)全日本空手道連盟 第1指定形・第2指定形及びこれまでに演武していない(ウ)の形から選択し、同じ形を繰り返し演武できるものとする。

中学生

- (ア) トーナメント方式で2名同時に行うが、準決勝戦より1名ずつで行う。
- (イ) 審判員5名の赤・青旗の多数決により決定する。
(2名同時に行う場合、副審の位置は主審と同線上とする)
- (ウ) 1・2回戦は、(公財)全日本空手道連盟 第1指定形または基本形(一～四)とし、繰り返してもよいものとする。
- (エ) 3回戦は(公財)全日本空手道連盟 第1指定形または第2指定形とするが、1・2回戦で用いた形は使用出来ない。
- (オ) 準決勝・決勝戦は3回戦までに演武していない(公財)全日本空手道連盟 第1・第2指定形及び得意形とし、同じ形を繰り返し演武しても良い。

高校生

- (ア) トーナメント方式で1名ずつで行う。
- (イ) 審判員5名の赤・青旗の多数決により決定する。
- (ウ) 1回戦(公財)全日本空手道連盟 第1指定形の中から選ばなければならない。
2回戦(公財)全日本空手道連盟 第2指定形の中から選ばなければならない。
- (エ) 3回戦以降は競技規定に定める得意形及び1・2回戦に使用しなかった第1・2指定形の中から選ばなければならない。
- (オ) 決勝は3回戦までに用いなかった指定形又は得意形とする。
3位決定戦を行う場合は全ての得意形の中から選択して良いものとする。

成年

高校生に同じ

【服 装】

- ① 監督 : 空手衣を着用し、左上腕に監督腕章を付けること。監督腕章は各県で用意のこと。
- ② 選手 : 競技規定にそった空手衣を着用すること。(腰ひもを着用・女子胸ひも禁止)
赤帯・青帯は各自で帯を用意し着用すること。(マイ帯の着用を認める)
 空手着左胸に「県名胸マーク」背中中央部にゼッケンをつけること。
 ゼッケンは4辺縫いつけること。(両面テープ不可)
 ゼッケン及び胸の県名は各県で用意のこと。



- ③ 競技役員・審判員 : 規定の服装とする。主会場は、体育館シューズ・スリッパ不可。
 (来賓および審判員シューズを除く)

- 10 ブロック大会選出国体形競技選手について
 成年男子形、成年女子形、少年女子形、少年男子形の各上位2名を国体ブロック代表選手とする。但し同種目2名の選手が同一県の場合3位選手から順に他県選手をブロック代表選手とする。中国地区ブロックの追加選手1名については形競技4種目の内、出場権を獲得した選手がいない県もしくは出場選手がもっとも少ない県より選考する。

11 競技時間

平成30年7月14日(土) 小・中学生競技

審判会議	11:00~11:30	
受付	11:30~12:30	
監督会議	11:35~12:05	※選手の変更はこの時点にて申請する
開会式	12:15~12:45	(以降の変更は認めない)
競技	13:00~17:25	
閉会式	17:40~18:00	

平成30年7月15日(日) 少年・成年競技

受付・計量	8:30~8:50
審判・監督会議	8:35~8:50
開会式	8:55~9:25
競技	9:30~11:30
昼食・休憩	11:30~12:20
競技	12:20~14:16
閉会式	14:30~15:00

12 表 彰

- (1) 各種目 3 位まで表彰する（3 位決定戦は行わないので、3 位入賞者を 2 名とする）
但し団体戦は 3 位決定戦を行う。また形個人戦にて同一県の選手が 1・2 位に入賞の場合
国体のブロック選出選手を決定するために 3 位決定戦を行う。
- (2) 個人種目 1 位 8 点 2 位 5 点 3 位 3 点 参加点 1 選手につき 1 点
組手団体 1 位 20 点 2 位 15 点 3 位 10 点 4 位 7 点（参加点なし）

13 審判員

審判団の編成は、全国および地区公認審判員で構成する。（各県 8 名推薦）
各県連理事長の推薦により、審判長と主管県連が協議して審判団の編成を行う。
（但し全数 40 名以下の場合、可能県に不足数を依頼する）

14 参加申込

(1) 申込期限

平成 30 年 6 月 12 日（火）必着のこと

(2) 申込方法

中国地区協議会所定の用紙（①参加申込書 ②大会役員・審判員の
推薦書）を下記宛に送付のこと。（郵送・Eメール可）

(3) 申込先

〒753-0831 山口県山口市平井 3 9 1 - 1 2

郵送先 山口県空手道連盟 大会担当 藤田 洋一 携帯：090-8995-5546

メール **藤田 洋一**

s9u59rh8@megaegg.ne.jp

15 抽 選

組合せ抽選は、大会事務局にて厳正に行う。

16 宿泊及び弁当

山口県空手道連盟よりの案内書（後日）または各県独自に申し込むこと。

<注>：大会一日目の昼食弁当は各県にて準備する事。

大会二日目の昼食弁当は大会役員・審判員・競技役員に限り主管連盟が用意する。

17 審判会議

会 場 維新百年記念公園 スポーツ文化センター 視聴覚室

日 時 7 月 1 4 日（土） 1 1 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0

7 月 1 5 日（日） 8 : 3 5 ~ 8 : 5 0

18 監督会議

会 場 維新百年記念公園 スポーツ文化センター 視聴覚室

日 時 7 月 1 4 日（土） 1 1 : 3 5 ~ 1 2 : 0 5

7 月 1 5 日（日） 8 : 3 5 ~ 8 : 5 0

19 その他

1. 競技上の事故については、大会本部で応急処置をするが、その後の治療は負傷者の所属する県連盟の責任で行うこと。健康保健証を必ず持参すること。なお、選手のエントリーに際しては、各県連盟の責任のもとで必ずメディカルチェックを受けてください。
2. エントリー後の選手変更は原則として認めない。ただし、疾病等により出場不可能となった場合は、大会日（監督会議）の時に交代選手名を届け出ること。